

心ふれあい SA吹田通信 205号

発行 SA吹田 ☎ 06-6388-3380 〒564-0004 吹田市原町3-7-2 小川忠夫 ogawatadaosasuita@yahoo.co.jp
ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.html>
ブログ:心ふれあいSA吹田

コロナ禍自粛解除を受けて 今年度初の役員会 7月8日(水) 社会福祉会館にて

1. 役員が一堂に集まり初顔合わせ・挨拶と自己紹介
2. SA通信・会員名簿・配付物等の配布方法・メールで配信・郵送・部会で渡す。
コロナで活動もままならず、郵送が多くなると思う。郵送費かさむがやむを得ない。
3. 今後の活動の見通し・歌体操活動1部開始、他の部会は見通せず

おもちゃなどは9月から活動開始できるか!!

7月下旬 感染急拡大…吹田市内でも40人以上/1週間 活動の見通し混沌

副会長挨拶 松森一夫

これを生き甲斐にしている我々には先の目標の実行を絶たれる程苦しいものは無いと思います。一日一刻の準備期間は子どもたちの思いを浮かべて励みにしていました。ステーションホームが4ヶ月にわたり続き、今では全国的に移動規制が解かれたが一部を除く大半の学校は学業優先になり各地文化祭も中止連絡がありました。防疫対策は種々ありますが児童や大人との直接対面指導の仕事だから①検温②手の消毒③窓の開放④密にならぬ配置⑤マスク着用⑥フェースガード着用等の諸状況は1~2年続ける必要があると思います。

副会長挨拶 加藤昌子

令和2年度SA吹田の副会長をさせて頂くことになり戸惑っています。新型コロナウイルス感染拡大の為活動が全て中止になり困っていたところテレワークで歌体操をすることが決まり34名の方が画面でお話をしながら体操が出来たことは今まで体験したことのない喜びでした。7月から少しずつ活動が始めつつありますが中々思うように動けず難しいですがその中で出来ることから始めて行ければと思っています。

総務部長挨拶 中西佐和子

今年はコロナ禍の影響で一堂に会しての総会が出来ず、新会長のもとコロナ禍をチャンスに、今迄を一新して、新体制で部会活動が強化されるなか、SA吹田の部会同士の交流活動をコロナ収束後、皆様のお力をお借りして是非進めたく、SA吹田の活動を応援していきたいと思っています。

会計部長挨拶 林田弘子

高齢者大学1期(SA地域コーディネーター科)卒業後入会し10年になります。歌体操部会に所属し高齢者施設でのボランティア活動を生きがいにしています。コロナ太りです、早く平常に戻り皆さんと共に活動できるように願っています。

SA吹田の歴史その2

国際交流部会

活動は13年前に始まりました。 当時の国際交流部会長の寄稿をご紹介します

(SA吹田20周年記念誌から転載)

1 はじめに 国際交流部会は国際理解教育の一助として、留学生・在日外国人の協力のもと、「小学生と外国人の交流授業」を行なっています。2007年度に当時の吹田市延地教育長が当企画にご賛同され、国際交流に理解のある小学校長をご紹介いただいたのが始まりです。初年度は4校、2008年度は9校で実施し、2009年度は12校となりました。2008年度の実績でみると、参加児童850名(9校)、参

加外国人40名(14カ国)でした。外国人の出身国は「ロシア、マレーシア、ブラジル、アメリカ、メキシコ、ドミニカ、韓国、タイ、スリランカ、中国、ケニア、コンゴ、台湾、インド」で、大陸すべてに亘りました。おそらく2009年度はこれを上回る児童数、外国人、出身国となるにちがいありません。なお、活動開始の2年目(2008年度)より大阪府社会福祉基金地域福祉振興助成金が活動資金になっています。

2 授業内容 当活動は児童の英語の勉強のお手伝いではなく、異文化を体験してもらうことが目的です。授業内容は、下表のようにお国紹介、パフォーマンス交換、会食というのが標準モデルです。(表の下へ続く)

プレゼンテーション 10:40～ 11:25)	外国人から日本語で母国を紹介・国旗、食べ物、景色、動物、おまつり、遊び、外国の言葉紹介あいさつ、数字の読み方 e t c
パフォーマンス交流 (11:30～ 12:15)	外国人と児童のパフォーマンス交換 歌、楽器演奏、ダンス、特技 etc.
給食(12:15～ 13:00)	外国人とサポートがクラスに分かれて同席

(5月月末)、学校勧誘(6-9月)、授業実施(9-3月)と云う流れになります。従って授業が2学期、3学期に集中し、授業に参加する外国人の確保が難しいのが実態です。外国人は主にJASSO大阪第一国際交流会館に居住の留学生、日本語センターの学生と吹田在住の主婦の方々です。そのため、吹田 市立小学校35校のうち半分程度の15校ぐらいしかサービスができません。また、大阪府社会福祉基金の助成金は3年が限度です。すでに2年が経過しましたので来年以降の運営資金を如何にすべきか思案の時期にかかっています。この活動も4年目を迎え子ども達に人気の授業となり、外国人にも喜ばれる「小さな国際交流」に育ってきました。なんとか続けてゆきたいものです。

3 課題 年間の活動は助成金申請(2月)、実績報告提出(4月)、助成金交付

SA吹田の歴史その3

福祉活動の始まり

丹羽・三好・小北さんにより始められました。

福祉教育の出発点となった「チラシ」です。活動の全てはこの1枚から始められました。(SA吹田20周年記念誌転載)

三好桂子寄稿



平成20年、当時の小川会長の発案のもとに誕生した「福祉部会」を担当することになりました。SA吹田の役員を離れずいぶん長い月日が経ち戸惑うことばかりですがよろしくお願ひします。私が以前役員であった当時、丹羽会長、小北さんと小中学生を対象に車イス、ブラインドウォークなどの福祉教育に取り組む企画をしました。チラシを作り市役所の青少年指導課へ「福祉教育の必要性」を私たちの言葉で伝えました。熱心に聴いてくださった課長さんは校長会でチラシを配布してくださることになりました。その結果、北山田小学校より依頼があり、手を取り合って喜んだものでした。現在のよう福祉教育が浸透していなかった時のことで、私たちは一步先

を進んでいたようで依頼は年に1~2回、皆無の年もありました。目標の完成まではほど遠い状態でしたがSAの福祉の火は消されることはありませんでした。この数年、社会福祉協議会の熱心な取り組みで「福祉教育」への関心は高まり、小中学校からの依頼が多くなりました。社会福祉協議会は「高齢者疑似体験教材」を購入、車イス、ブラインドウォーク、高齢者疑似体験と何時でも対応できる体制が整い、私たちも福祉教育体験授業を共にする機会が多くなって来ました。私たちの部会は社会福祉協議会と連携を保ち、福祉教育に取り組んでいきたいと思ひます

会員の広場

テーマ:自由(活動・趣味・失敗談・想うこと・何でも可)

おもちゃ部会 MUS 元野節

3月初旬から活動中止による外出自粛に始まりおもちゃ作りにも先行きを見越せない、世の中の変化に対して不安を感じつつも当初は、おもちゃ作りに対して下準備等の段取りや、日程の調整も考慮に入れて進めていたのが、数か月及び今年1年間の中止宣告を各所(館・センター・学校等)からの情報・通達により、おもちゃに対する諦め(目的意識の失意)に伴って日々の生活リズムにも狂いが生じ、体調にも影響が出始める次第でしたが(… …)。一人よがりの杞憂とわかり、今、ここにきて、改めて目的意識(高揚)の持つことの大切さを知り、おもちゃを作って子供たちと遊ぼう(健全育成)また、社会福祉の向上・並びに会員相互の親睦(コミュニケーション)を図ることの重大さに気づかされた思いをしているところです。

歌体操部会 H&S 埜和由紀

歌体操市民塾は対策を徹底し一堂に会する活動を5ヶ月ぶりに再開しました。まずは会員の約半数に当たるテレワーク参加者のみで試み、次にそれ以外の方々にお声がけしました。皆さん再開を心待ちにされてた様で殆どの方がお越し下さり久し振りの体操を楽しんでおられました。来月は無事一緒に出来る事を祈るばかりです。

例年秋に行われている北ブロック交流会の中止が決まり残念でなりません。が前に向かう気持ちを忘れずに歩いていきたいと思えます。

SA吹田会員 腹話術師 西村ゆくを

プロ腹話術師「いっこく堂」にあこがれ腹話術を初めて20年。18年前腹話術の技術向上を目的に「笑楽の会」を結成。10年前から高齢者大学に入学し、これまで10名近くがメンバーに加わり現在21名。年間50回以上のボランティアに参加。活動はおもに3名1組になり養護老人ホーム、高齢者お食事会、デイサービス、幼稚園、公民館、地域行事などへ慰問。

腹話術・落語・曲芸・足芸・スコップ三味線・歌体操・南京玉すだれ・安来節などを演じ披露している。

今年の活動はコロナ禍の影響で、2月から8月まで全てキャンセル。ゆっくり休んでいる今日この頃です。

SA吹田会員 ネット大阪 武内 信憲

新型コロナの関係で吹田市国際交流協会(SIFA)での日本語支援の活動は2月末から中止しています。9月から再開です。SIFAではオンラインで一部日本語教室は6月から始めています。英語でのプレゼンによる留学生との交流会の千里中央での千里英語サロン(SES)は3月から5月まで中止で6月から再開しました。自粛期間に入ってから、今までと違って新聞を読む時間が増えたのと、自分自身や家族の健康に以前より気を付けるようになったのが大きな収穫でした。オンラインで集会ができるようになり講演会等の開催は再考が必要になりました。

編集後記 大阪もコロナの感染拡大が7月下旬で大きくなり、今後の生活自体が混とんとして見通しが立たない。SA吹田も活動が無いので活動報告が出来ないため、新しい会員の皆様にSA吹田の歴史の一部をご紹介します。小川忠夫